

1 がっひかりごう

令和 7 年 1 月 1 日 輝 保 育 園

あけましておめでとうございます。 1 年の中で最も寒い時期を迎えました。 インフルエンザや嘔吐下痢が流行する時期ですが、輝保育園の子ども達はとても元気です。 今年も子ども達にとって、よく遊び、よく学ぶ、充実した 1 年となりますように、健やかな成長を見守りたいと思います。 本年もよろしく願いいたします。

(((初 夢)))

初夢と聞くと一番に頭に思い浮かべるのは「一富士 (いちふじ)、二鷹 (にたか)、三茄子 (さんすび)」だという方は多いでしょう。

江戸時代に一般化された縁起の良い初夢ベスト 3 です。

実はこの続きが存在するそうです。

ある地域や諸文献から、「四扇 (しおうぎ)、五煙草 (ごたばこ)、六座頭 (ろくざとう)」と続くと記述されているものがあるようです。



＝ ナース・レポート ＝

【 福岡県がインフルエンザ警報、感染対策の徹底を呼びかけ 】

福岡県内ではインフルエンザの感染者が急増しています。

福岡県のよりますと、12 月 15 日までの 1 週間のインフルエンザの感染者数は 7009 人で、定点当たりの感染者数は 35.70 人となりました。これは前の週の 1.74 倍で、インフルエンザの大きな流行が発生、または継続しつつある警報レベル 30 人を超えました。

このため福岡県は 19 日、インフルエンザ警報を発表しました。

12/19 RKB 毎日放送より抜粋
登園でも 12/19 の時点でインフルエンザの報告がありました。

突然の高熱が出現し、倦怠感、食欲不振、関節痛、筋肉痛等の全身症状や、咽頭痛、鼻汁、咳などの気道症状を伴います。

小児の場合は一旦解熱した後、24 時間以上経ってから再び発熱することがあります (二峰性発熱といえます)。

また、日本の小児の脳炎の最大の原因で、毎年 100 ～ 150 人が脳炎になります。

脳炎は発熱して 2 日以内に起こりやすく、治療しても死亡や後遺症を残す場合や罹患後に気管支炎や肺炎になる症例もあります。

ワクチン接種で重症化を防げるものはしっかり防ぎ、個々の感染対策を引き続き徹底していきましょう。

《 《 お 願 い 》 》 》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。 名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

～ 親離れ・子離れ (依存と自立) ～

- ① 乳幼児期 : 親が十分に、子どもの甘えを受け入れることが大切です。

子どもが親離れし、自立した大人へと導くためには、乳幼児期に親がしっかりと、甘えさせてあげることが重要になってきます。

自分の希望がすべて受け入れられる、望んだことが満たされることを十分経験させることで、子どもたちは「自分は愛されている、価値ある存在なのだ」と実感します。

この親子の「基本的信頼感」がなければ、自立への第一歩が踏み出せません。

ここで大事にしたいことは、「甘やかす」、「甘えさせる」ことの違いを親がしっかり理解することです。

「甘えさせる」とは、子どもにとって必要な要求に応えることであり、必要か必要かは、親が判断することが重要です。

- 不必要なことや物を与えることは、「甘やかす」ことです。

- 必要なことや物を与えないことは、「放任」、「ネグレクト」です。



「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ
0 才児



最近の 0 才児クラスはおしゃべりが上手になり、ますますにぎやかになりました。 言葉の獲得には音声を聞く、発する、人とのコミュニケーション、物の認知が必要になります。 乳児期の早い内から様々な音を聞き分け特に人が話す音を心地よいと感じ、音声器官が発達すると母音を中心とした音声を発するようになります。 また、コミュニケーションを通して感情豊かな喃語や発語が増え、言葉の理解が深まると指差しや身振りも交え片言の言葉で伝えようとしします。言葉の獲得は個人差が大きいですが、泣いて何かを伝えようとしていた時期から一生懸命に自分の意思を言葉を使って伝えようとする姿はとても微笑ましく成長を感じる時期です。 色々なものが育まれる言葉でのやり取り、語り掛けを今後楽しんでいきます。

たんぽぽぐみ
1 才児



先月はクリスマス製作をしました。 シール貼り、お絵描き、スタンプング等、数人ずつでゆったりと保育者と関わりながら取り組みました。 サンタの目は、見本を見て「おめめ、ここ？」としっかり確認しながら自分達でシールを貼りました。 色々な表情の味のあるサンタになりました。 スタンプングでは、一人ずつストローを渡し、雪の結晶に見立てスタンプを押しました。スタンプに絵の具をつけること、画用紙に押してみると模様がでること、を楽しんで子ども達自身も「ペタペタ～」と言いながらたくさんスタンプングしていました。 また、飾ったクリスマス製作を見て、「シールペタペタしたね」「おめめ、貼ったね」と保育者とのやり取りも楽しんでいきます。 休み明けに、元気な姿を見せてくれることを楽しみにしています。

すみれぐみ
2 才児



寒さが一段と厳しくなりました。 そんな中でも、子ども達は元気に走り回っています。 上着を着るようになり、自分で着る練習を頑張っています。 ボタンやファスナーが難しく、最初は「出来ない」「して」と言っていた子ども達ですが、やり方を教えながら一緒に行くことで「先生、見ててね」と自分で出来ることを嬉しそうに見せてくれるようになりました。 時間はかかりますが、最後まで諦めずに頑張っています。 出来た時の喜びや達成感は、より特別なものに感じられます。 その経験が「難しいけど頑張ってみよう！」という意欲に繋がります。 お忙しいとは思いますが、子ども達が自分で頑張っているときは、温かく見守ってあげてください。そして、出来た時はたくさん褒め、出来なかった時も、頑張ったことを認め、褒めてあげてください。

ちゅうりっぷぐみ
3 才児



「あわてんぼうのサンタクロース」の歌を練習しています。 歌詞が長くテンポも少し速いため難しい一面もありますが、子ども達の大好きな歌の一つです。歌詞を覚え始めると口ずさむようになってきます。 ある日、歌声が聞こえてきたので耳を澄ましていると「甘えん坊のサンタクロース♪」と歌っており、間違っていて覚えていた姿に可愛さも面白さも、保育士間で顔を見合せて笑ってしまいました。 また、絵本をもとにした表現遊びを取り入れた際には、オオカミが「ばれたかあ」と残念がる様子を、感情たっぷりにセリフと仕草で表現する姿があり、その名演技に拍手が湧きました。 早いもので今年も残り数日。 新年もよく遊びよく学ぶ充実した 1 年でありますよう、子ども達の健やかな成長を願っています。 今年もたくさんのご協力ありがとうございました。

ばらぐみ
4 才児



寒くなり縄跳びをする子が増えてきました。「先生、見てて」「〇回跳べるようになった」と嬉しそうに言いに来たり、縄がうまく回せずにいた子も毎日のように練習して続くようになってきました。 ドッジボールも子ども達に人気で、声を上げて逃げたり積極的にボールを取りに行ったりと楽しそうに遊んでいます。白線を越えてボールを取ったりボールの取り合いになることもあります。「じゃあ、いいよ」と譲ったり、無理に取ろうとすると周りの子たちが「A ちゃん你先やった」と指摘する姿もみられます。 ルールを守りながら、友だちに譲ったり我慢したり友だちが違うことをしている時は教えたり様々な経験をしながら楽しんでいけるよう進めていきます。 また劇遊びや楽器では初めてのことに興味深々の子も達。 友だちと共に考えたり協力したりして楽しみながら取り組んでいきます。

ひまわりぐみ
5 才児



寒い戸外で縄跳びをして体を温めながら遊んでいます。 得意な子ども達は交差跳びにチャレンジし、苦手な子ども達は自主的にとはいきませんが、体育教室で馬場先生のアドバイスを素直に聞きながら練習を頑張っています。 また、生活発表会の練習を本格的に始めました。 やはり、集中力が切れて違うことが気になったり、子ども同士の小さなトラブルが起きたりしますが、運動会の練習を始めた頃とは顔つきが少し違い「楽しい」「難しいけど頑張る」「今日練習する？」という声が聞こえてきます。 友だちがセリフを言うのを微笑みながら見たり、保育者が「本当の動物みたい」と褒めると「おお、すごい」と言って拍手をしたりして友だちを認める姿が見られます。 子ども同士の関係を深めながら、クラス全員で一つのことに取り組む楽しさを感じられるように取り組んでいきます。



＝ 1 月 の 行 事 予 定 ＝

4 日 (土) 保育始め

9 日 (木) 避難訓練

23 日 (木) 誕生会・身体測定

24 日 (金) 発表会リハーサル

